

令和7年度

アートマネジメント人材養成講座 &

長栄座をさらに楽しむプレ企画

「余呉の羽衣伝説」を能に！
作品の見どころ、まるわかり！

文化産業交流会館(米原市)では、県北部の湖北地域の魅力を、舞台を通じて知ってもらおうと、8月11日に「湖北百景ー羽衣舞う余呉」と題した能の公演を予定しています。現在の長浜市余呉町に伝わる「羽衣伝説」を組み込んだ能を制作し、能楽組曲「余呉」として披露します。それに先立ち、6月8日に「長栄座をさらに楽しむプレ企画」を開催します。
とはいえ、「能の鑑賞ってどうすれば良いの?」「羽衣伝説って何?」「能楽組曲とは?」と二の足を踏む方もいらっしゃるでしょう。そんな方が能に親しむ橋渡しをする「プレ企画」です。

日時：2025年6月8日(日) 14〜16時

会場：滋賀県立文化産業交流会館 練習室1

講師：小林昌廣 (滋賀県立文化産業交流会館舞台アドバイザー
前・情報科学芸術大学院大学教授)

田茂井廣道 (観世流能楽師シテ方)

参加料：無料
(要事前申込)



主催：滋賀県立文化産業交流会館
〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137
TEL:0749-52-5111 <https://www.s-bunsan.jp/>

当館では、湖北地域の魅力を多くの方に知っていただきたいと、2024年度より3年計画で「湖北百景」と題した公演を行っています。また、公演を観るだけでなく現地を訪れるきっかけとなればと考えております。当講座がそんな「湖北」を知る一助になれば幸いです。

令和7年度「湖北百景」は 「羽衣伝説」に想を得た能公演を開催 「湖北百景－羽衣舞う余呉」

2025年8月11日(月・祝) 14時開演

滋賀県立文化産業交流会館イベントホール内特設舞台「長栄座」

「湖北」の魅力を
公演でも現地でも

「講師プロフィール」

こばやしまさひろ 小林昌廣

1959年東京生まれ。医学と哲学と芸術を三つの頂点とする三角形の中心に「身体」をすえて、独特の身体論を展開。医学史・医療人類学から見た身体、古典芸能(歌舞伎、文楽、能楽、落語)から見た身体、そして現代思想とくに表象文化論から見た身体などについて横断的に考察している。各地で歌舞伎や落語に関する市民講座や公開講座などを行なっている。2023年度より当館の古典芸能分野に関する舞台芸術アドバイザーに着任。2024～26年度までの芝居小屋「長栄座」公演「湖北百景」の監修・演出を務める。元・IAMAS(情報科学芸術大学院大学)教授。一般財団法人「日々の哲学」代表理事。

たもいひろみち 田茂井廣道

能楽シテ方観世流能楽師。準職分。1970年生。幼少より河村晴夫師、長じて十三世林喜右衛門師に師事。3歳にて初舞台。1998年に林喜右衛門師より独立を許される。2005年11月に大曲《道成寺》、2023年4月に《安宅勸進帳》を披(ひら)くなど、能の上演多数。2014年3月、兵庫豊岡市の豊岡市民プラザにおいて、新作能《田道間守(たじまもり)》の製作、脚本を担当する。京都・三田・東京にて社中の会「碧道会」を主宰する。中国・米国・オランダ・ベルギー・フランス・カナダ・オーストリア・スイス・英国・ギリシャ等、海外公演に参加多数。2005年度より京都芸術センター主催の素謡の会『義経を謡ふ』『百花謡乱』『木謡日の世阿弥』『源氏の恋模謡』『寧楽道謡』『一調二機三声』『謡の旅路』『平家を謡ふ』『ようこそ、観阿弥さん』『世謡の春』『宙にただよう恋』『世うつしの鏡』『うたいろあはせ』のナビゲーター(紹介者)を勤める。能の普及に微力ながらも一助となるよう活動している。



JR新幹線・琵琶湖線 米原駅西口より徒歩約7分

北陸自動車道 米原インターチェンジより約10分

名神高速道路 彦根インターチェンジより約15分

駐車台数：360台

※ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。



滋賀県立文化産業交流会館
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

〒521-0016 滋賀県米原市下多良二丁目137

TEL：0749-52-5111 FAX：0749-52-5119

※月曜休館 ただし、月曜日が祝日の場合は翌日以降の休日でない日

【申し込み方法】

下記のいずれかの方法でお申込みください。

①QRコードよりホームページ内申込フォームにて

②電話にて(TEL：0749-52-5111)

※お名前とお電話番号をお知らせください

※申込締切は講座の前日までの予定ですが、申込多数の場合はお断りする場合があります。ご了承ください。

